
キャリアセレクトアビリティ
CareerSelectAbilityの

**4つの環境が与える影響に
関する調査**



一般財団法人 エン人材教育財団

目次

- [本調査の目的](#)
- [調査概要](#)
- [回答者の基本属性](#)
 - [企業データに関する基本属性](#)
 - [個人データに関する基本属性](#)
- [サマリー](#)
- [CareerSelectAbility\(CSA\)^{※1}の4つの環境^{※2}について](#)
- [企業に対する「CSAの4つの環境」の影響](#)
 - [「CSAの4つの環境」と企業業績](#)
 - [「CSAの4つの環境」と社員のレベル](#)
- [個人に対する「CSAの4つの環境」の影響](#)
 - [「CSAの4つの環境」と個人の成長実感](#)
 - [能力・スキルの成長](#)
 - [精神的成長](#)
 - [「CSAの4つの環境」とキャリア満足度](#)
 - [「CSAの4つの環境」とキャリア期待値](#)
- [「CSAの4つの環境」がある企業の傾向](#)
 - [従業員数](#)
 - [日系・外資の区分](#)
 - [CHRO^{※3}の有無](#)

※1 キャリア自己選択力[®]。どんな業界・組織でも、多くの職種でも通用し、活躍できる力のこと。

※2 CSAが身につく環境として、以下4つを定義している。

環境1：社内外の競争が激しく、成長基調で活気がある

環境2：20代からチャレンジングで困難な非定型業務を求められる

環境3：性別、国籍、学歴、在籍年数に関わらず、正當に評価される実力主義

環境4：本業の商品・サービスで自社独自の主観正義性を実感できる

※3 経営陣の一人として戦略人事を実行するとともに、人事関連のすべての業務に責任を持つ役割

本調査の目的

エン人材教育財団では、20代に薦めたい次世代型人材創出企業に光を当てる CSA 賞事業を行っている。CSA 賞においては、エン・ジャパングループで定義している CareerSelectAbility(CSA)^{※1} の4つの環境^{※2}の有無が、審査項目の一つになっている。CSA の4つの環境が整うことで、企業の業績や社員のレベル、個人の成長感やキャリアへの満足度・期待値にどのような影響を及ぼしているか、また、どのような企業が4つの環境が揃っている傾向があるのかを明らかにするため、調査を実施した。

※1 キャリア自己選択力[®]。どんな業界・組織でも、多くの職種でも通用し、活躍できる力のこと。

※2 CSA が身につく環境として、以下4つを定義している。

環境1：社内外の競争が激しく、成長基調で活気がある

環境2：20代からチャレンジングで困難な非定型業務を求められる

環境3：性別、国籍、学歴、在籍年数に関わらず、正當に評価される実力主義

環境4：本業の商品・サービスで自社独自の主観正義性^{※3}を実感できる

※3 「〇〇という課題を解決したい/△△な業界・世の中にしたい」という、顧客・業界・社会課題に対する自社ならではの思いや考え方

調査概要

調査期間：2022年8月5日（金）～2022年8月8日（月）

調査対象：従業員規模100名以上の企業の正社員

調査方法：インターネット調査

有効回答数：企業データ 944

個人データ 1,500

回答者の基本属性

【企業データに関する基本属性】

上場区分

	回答数	%
東証プライム市場	226	23.94
東証スタンダード市場	72	7.63
東証グロース市場	12	1.27
その他上場	13	1.38
非上場	491	52.01
わからない	130	13.77
全体	944	100.00

従業員数

	回答数	%
100人~299人	214	22.67
300人~499人	128	13.56
500人~999人	138	14.62
1,000人~2,999人	166	17.58
3,000人~4,999人	79	8.37
5,000人~9,999人	85	9.00
10,000人以上	134	14.19
全体	944	100.00

CHRO[※]の有無

	回答数	%
CHROがいる	190	20.13
CHROはいない	502	53.18
わからない	252	26.69
全体	944	100.00

※経営陣の一人として戦略人事を実行するとともに、人事関連のすべての業務に責任を持つ役割

本社所在地

	回答数	%
北海道	30	3.18
青森県	5	0.53
岩手県	9	0.95
宮城県	9	0.95
秋田県	4	0.42
山形県	6	0.64
福島県	8	0.85
茨城県	11	1.17
栃木県	6	0.64
群馬県	9	0.95
埼玉県	26	2.75
千葉県	26	2.75
東京都	303	32.10
神奈川県	41	4.34
新潟県	8	0.85
富山県	8	0.85
石川県	6	0.64
福井県	4	0.42
山梨県	2	0.21
長野県	7	0.74
岐阜県	16	1.69
静岡県	18	1.91
愛知県	65	6.89
三重県	10	1.06

	回答数	%
滋賀県	8	0.85
京都府	32	3.39
大阪府	96	10.17
兵庫県	32	3.39
奈良県	10	1.06
和歌山県	7	0.74
鳥取県	3	0.32
島根県	4	0.42
岡山県	11	1.17
広島県	14	1.48
山口県	6	0.64
徳島県	2	0.21
香川県	4	0.42
愛媛県	8	0.85
高知県	2	0.21
福岡県	29	3.07
佐賀県	6	0.64
長崎県	1	0.11
熊本県	6	0.64
大分県	7	0.74
宮崎県	4	0.42
鹿児島県	5	0.53
沖縄県	7	0.74
上記以外	3	0.32
全体	944	100.00

日系・外資区分

	回答数	%
日系企業	825	87.39
外資系企業	56	5.93
わからない	63	6.67
全体	944	100.00

【個人データに関する基本属性】

年代・性別

	該当数	男性	女性	回答しない
22歳以上30歳未満	375	136	239	0
30歳以上40歳未満	375	226	148	1
40歳以上50歳未満	375	308	67	0
50歳以上	375	349	26	0
全体	1500	1019	480	1

勤務先の従業員数

	回答数	%
100人～299人	342	22.8
300人～499人	172	11.5
500人～999人	201	13.4
1,000人～2,999人	239	15.9
3,000人～4,999人	125	8.3
5,000人～9,999人	126	8.4
10,000人以上	295	19.7
全体	1500	100.0

勤務先会社の上場区分

	回答数	%
東証プライム市場	360	24.0
東証スタンダード市場	83	5.5
東証グロース市場	12	0.8
その他上場	15	1.0
非上場	750	50.0
わからない	280	18.7
全体	1500	100.0

年収

	回答数	%
300万円未満	176	11.7
300万円以上400万円未満	293	19.5
400万円以上500万円未満	263	17.5
500万円以上600万円未満	224	14.9
600万円以上700万円未満	149	9.9
700万円以上800万円未満	139	9.3
800万円以上900万円未満	85	5.7
900万円以上1,000万円未満	54	3.6
1,000万円以上	117	7.8
全体	1500	100.0

転職経験

	回答数	%
転職したことはない	819	54.6
1回	318	21.2
2回	147	9.8
3回	86	5.7
4回	46	3.1
5回以上	84	5.6
全体	1500	100.0

サマリー

●CareerSelectAbility(CSA)の4つの環境は企業に影響するか？

4つの環境が揃っている企業ほど、業績が高い傾向があることが分かった。また、4つの環境が揃っている企業の方が、社員自身が自社の社員のレベルが高いと感じていることが明らかになった。

●CSAの4つの環境が揃うことが個人にどう影響しているか？

4つの環境が揃っているほど、能力的にも精神的にも成長実感が高まることが分かった。また、現在のキャリアへの満足度・将来へのキャリアへの期待感についても、4つの環境が揃うほど高いという結果が出た。

●どのような企業が4つの環境が揃っている傾向があるのか？

【従業員数での比較】

100～299人の企業と、10,000人以上の企業との関係において、10,000人以上の企業の方が4つの環境が整っている可能性が高いことが明らかになった。

【CHROの有無での比較】

CHROの有無ではCHROがいる企業の方が4つの環境が揃っていることが確認された。

【日系・外資の区分の比較】

外資企業の方が4つの環境が揃っているという結果が出た。

CareerSelectAbility(CSA)の4つの環境について

エン人材教育財団では、キャリアを自分で選んでいく力を CareerSelectAbility®（キャリア自己選択力）と定義し、CareerSelectAbility（以下 CSA）を向上させるために必要な3つの要素として考え方・能力・環境を定義している。その中でも、環境については以下4つに分け定義している。本調査では、この「CSAの4つの環境」が揃っているかを基に、企業・個人の視点で調査を行った。

キャリアセレクトアビリティ®

CareerSelectAbility / キャリア自己選択力

就職・転職で、多くのオファーの中から自分の意思で選べるほどの力
転職せずとも、現職内の仕事を自分の意思で選べるほどの力

考え方
(価値観)

×

能力

×

環境

【CSAの4つの環境】

環境1：社内外の競争が激しく、成長基調で活気がある

環境2：20代からチャレンジングで困難な非定型業務を求められる

環境3：性別、国籍、学歴、在籍年数に関わらず、正当に評価される実力主義

環境4：本業の商品・サービスで自社独自の主観正義性※を実感できる

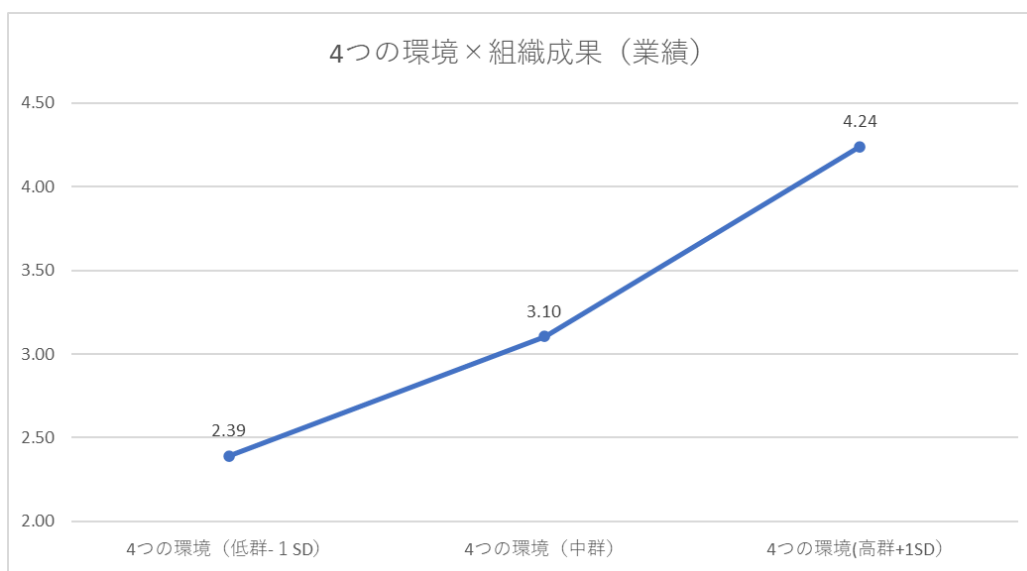
「○○という課題を解決したい/△△な業界・世の中にしたい」という、顧客・業界・社会課題に対する
自社ならではの思いや考え方

企業に対する「CSAの4つの環境」の影響

「CSAの4つの環境」と企業業績

4つの環境と企業業績の関係性を調べるため、4つの環境のスコアで分類した企業群と業績の関係を調べたところ、4つの環境が整っている企業ほど業績が高いことが確認された。

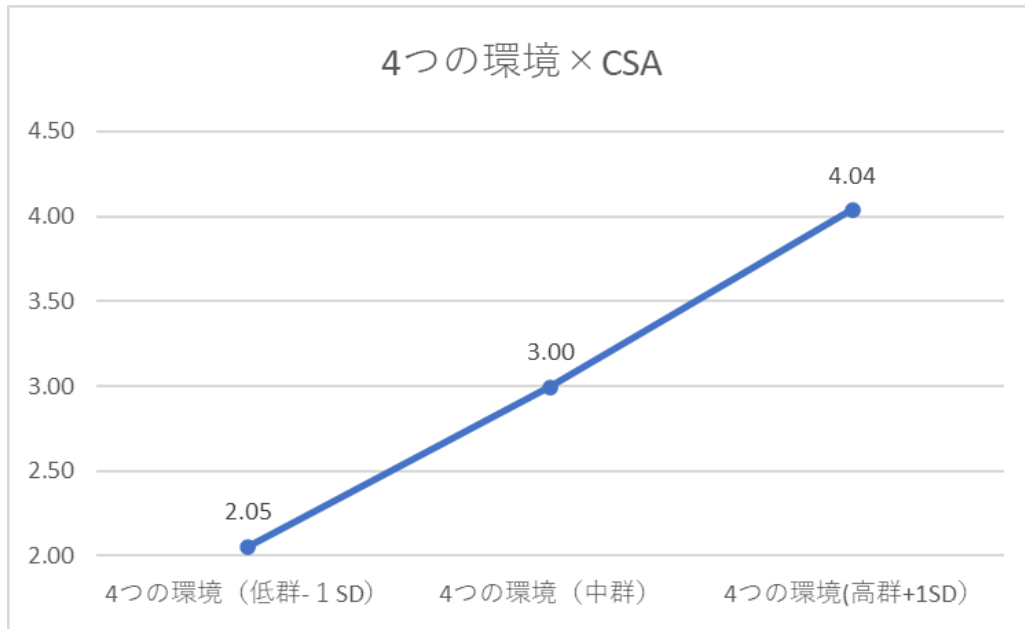
【設問】 競合他社と比較して自社の業績は伸びている



「CSAの4つの環境」と社員のレベル

4つの環境があることが、優秀な人材の育成につながっているかを確認するため、社員のレベルに関する設問と4つの環境との関係性を調べた。その結果、4つの環境が整っている企業ほど、社員のレベルが高い傾向が示唆された。つまり、4つの環境が整うことは優秀な人材の育成・輩出に繋がっていると示唆される。

【設問】あなたと同職種・同年代の自社社員は、競合の同職種・同年代の社員と比較してレベルが高いと思いますか？



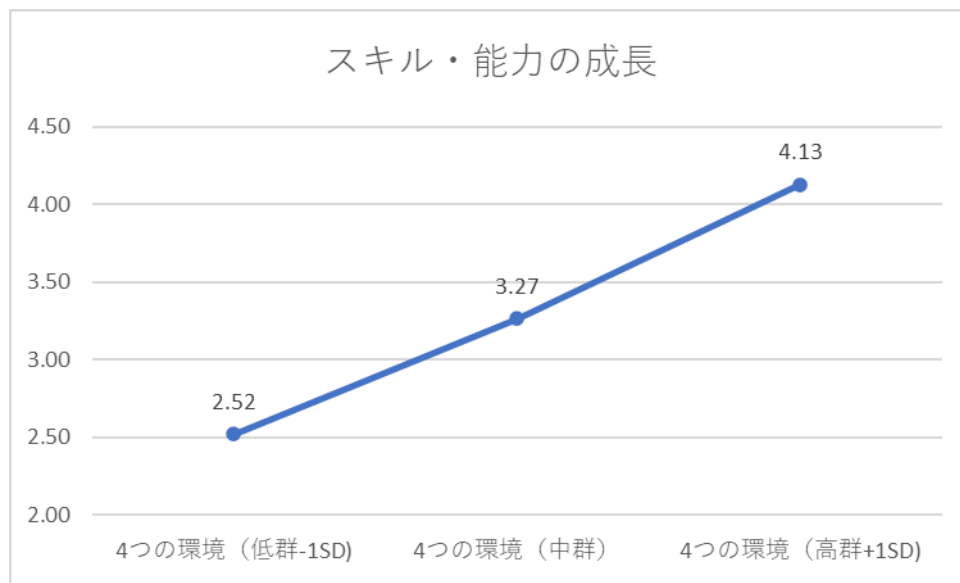
個人に対する「CSAの4つの環境」への影響

「CSAの4つの環境」と個人の成長実感

【能力・スキルの成長】

能力・スキルの成長と4つの環境との関係を調べたところ、4つの環境が揃っているグループほどスキル・能力面での成長実感のスコアが高いことが示された。4つの環境が整うことが、スキル・能力面の成長に繋がっていると考えられる。

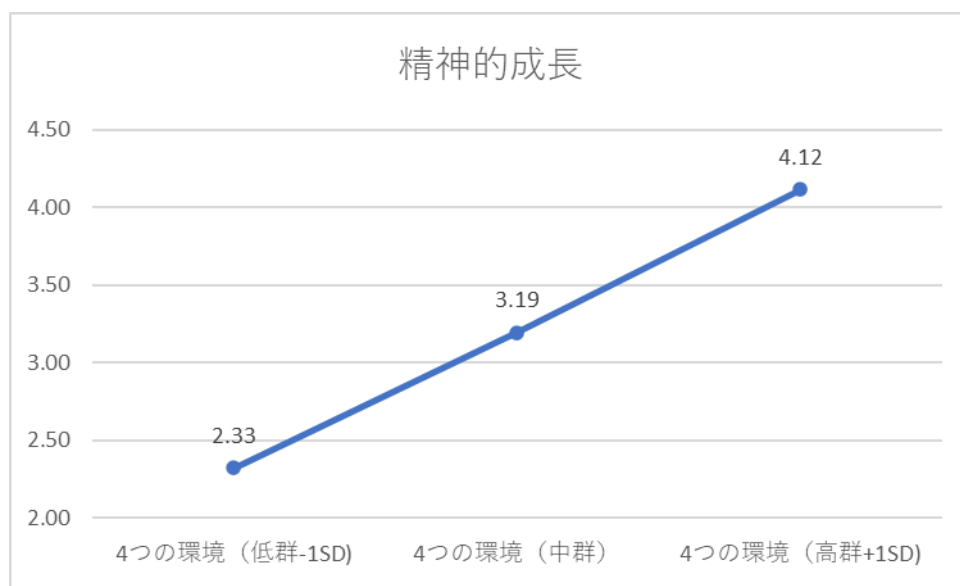
【設問文】自分の仕事のスキル・能力が向上していると思う



【精神的成長】

精神的な成長について、4つの環境との関係を調べたところ、4つの環境が整っているほど精神的成長のスコアが高い。4つの環境が整うことは、スキル・能力だけでなく精神的な成長にもつながるといえる。

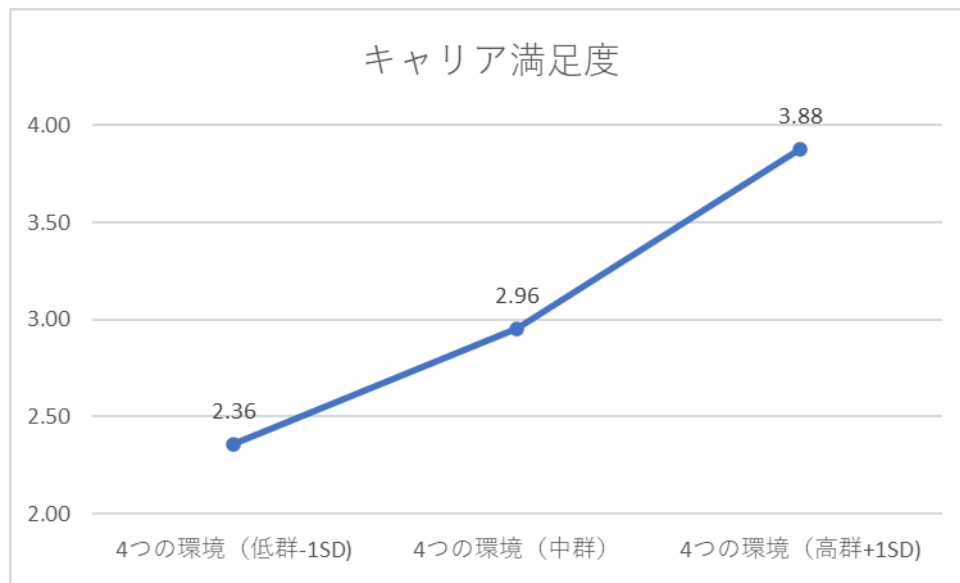
【設問文】 仕事を通じて、スキル・能力だけでなく、精神的な成長を感じる



「CSAの4つの環境」とキャリア満足度

4つの環境とキャリア満足度の関係性を調べたところ、職場に4つの環境が整っているほどキャリア満足度が高い結果となった。

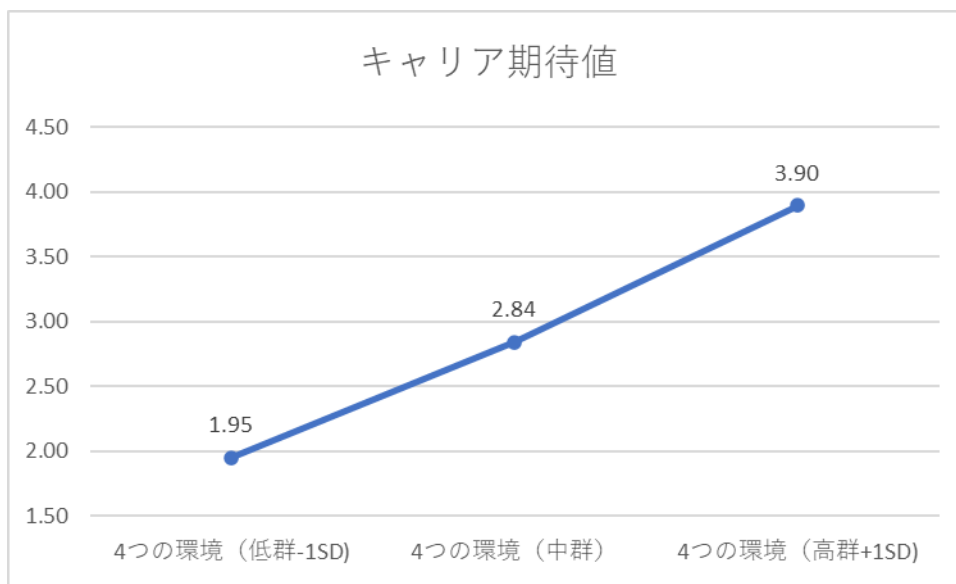
【設問文】自分の現時点でのキャリアに満足している



「CSAの4つの環境」とキャリア期待値

4つの環境と将来のキャリアへの期待感（キャリア期待値）の関係性を調べたところ、4つの環境が揃っているほどキャリア期待値が高いという結果が出た。4つの環境が揃うことは、現在のキャリア満足度だけでなく将来のキャリア期待値にもプラスに影響することが明らかになった。

【設問文】 これからのキャリアに期待が持てる

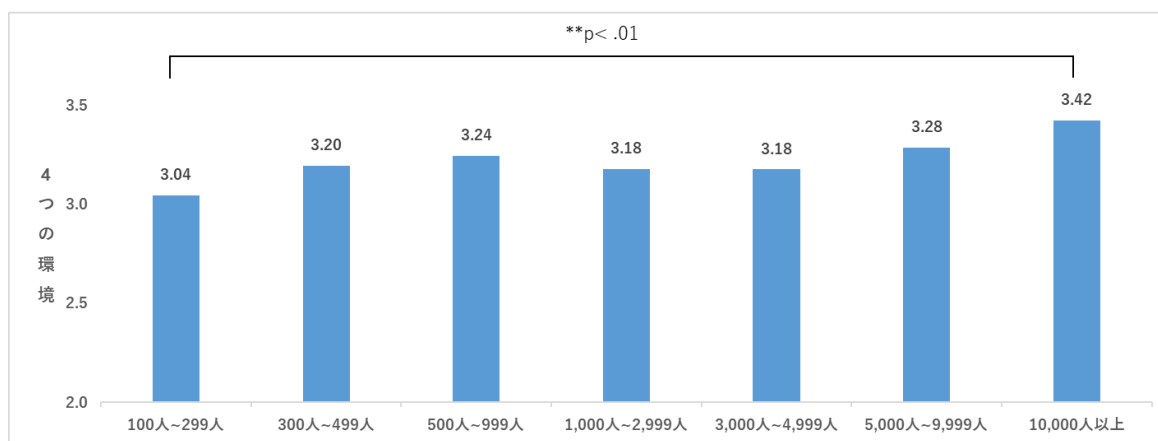


「CSAの4つの環境」に関する企業データ

CSAの4つの環境が揃っている企業の傾向を調べるため、従業員数、日系・外資の区分、CHROの有無の3つの観点と、4つの環境との関係性を調べた。

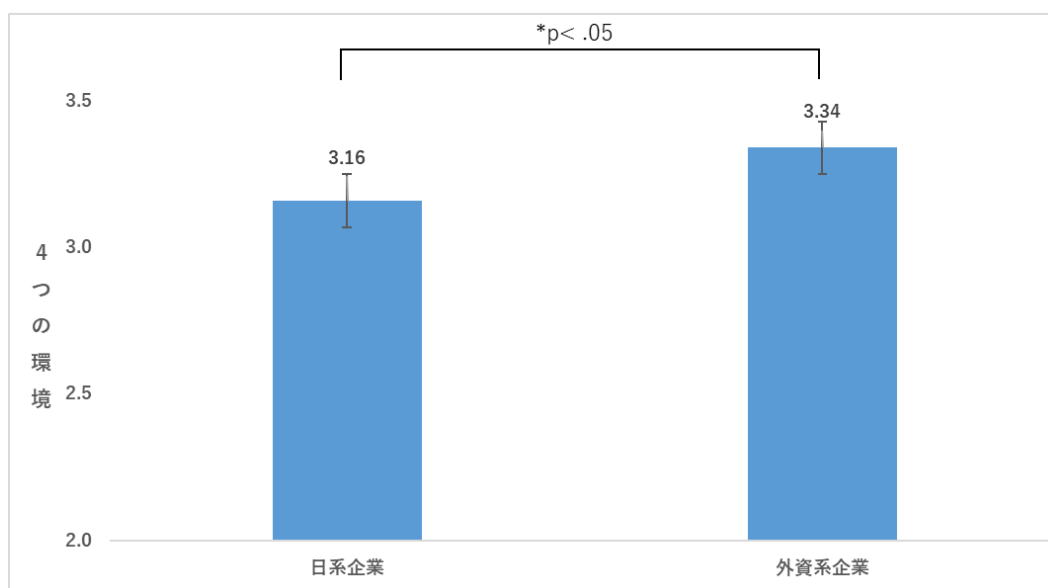
【従業員数】

従業員数ごとに4つの環境の比較をしたところ、100~299人の企業と、10,000人以上の企業との比較において、10,000人以上の企業の方が4つの環境が整っていることが確認された。その他については優位な差はなかったが、5000人以上の企業ではスコアが高かった一方で、1000~4999人の企業よりも、300~499人、500~999人の企業の方が4つの環境のスコアが高かった。



【日系・外資の区分】

日系企業と外資企業での4つの環境の有無を比べたところ、外資系企業の方が4つの環境が整っていることが示された。



【CHROの有無】

CHRO（経営陣の一人として戦略人事を実行するとともに、人事関連のすべての業務に責任を持つ役割）がいる企業と、いない企業で4つの環境が整っているかどうかのスコアの差を調べたところ、CHROがいる企業の方が4つの環境が整っていることが示された。

